

令和2年度がはじまりましたが・・・



春季休業中も含め1か月余りにも及ぶ学校休業が終わり、新年度が始まると思いきや、新型コロナウイルスの流行が収まらない状況において、再度臨時休業が続くことになってしまいました。生徒の皆さんも、この間、非常につらい日々を送っていることと思いますが、世界史に残る地球規模の危機に直面しています。その渦中にいるということを理解し、早く収束することを願い、ここはお互いに踏ん張って、頑張っていきましょう。

学校の行事も大きく見直すことになります。3年生の修学旅行と2年生の宿泊行事はすでに9月に延期と決めています。これらもその時期になってみないことには、実施できるかどうか予測できない状態です。また、学校としても、日々の学習や体育祭、文化祭、総合的な学習の時間の取り組みなど、皆さんの成長につながるこれまで積み上げてきた様々な教育活動を、限られた時間の中で「質」落とさずどう取り組んでいけばいいのか模索しています。年間計画もなかなか立てられない状況に、私たちも戸惑っています。急な変更や規模の縮小、中止などが頻繁に起こることも多々あるでしょう。だからこそ「今何をすべきか」を自分で考え、「その時」にどう判断し行動するかが問われるのではないかと思います。「空白の一年」にしないよう、それぞれが「すべきこと」をしっかりと取り組んでいきましょう。



の「アクションプラン」を実施することで、社会における様々な「課題」に「気づき」、その「課題」解決に向けて活躍されている多くの社会人の方々と「つながり」、その方々や目標を同じとする「学友」との交流によって、これからの「自分の生き方」や「未来社会」を創り出そうとする「自分」を「創り出して」きました。

新型コロナウイルス禍によって、これまで築き上げ創り出してきた新たな「伝統」が崩れていかないと危惧していますが、このような状況だからこそ、それぞれが、この「学びのキーワード」を強く意識して学んでいくことを願っています。そして、学校が再開した時には、皆さんと共にこの「伝統」をさらにパワーアップしていきたいです。

お世話に
なりました

去られた先生 来られた先生

よろしく
お願いします

◎転出・退職など

- 坂口 知之 国語 枚方中へ
- 田坂 眞二 社会 蹠中へ
- 上芝 律夫 支援 蹠中へ
- 溝尻 直希 数学 楠葉西中へ
- 中川 智美 技家 渚西中へ
- 山崎 隆司 美術 転出
- 高士 邦宏 理科 東香里中へ
- 大塚 美幸 保健室 招提中へ
- 山口 純子 数学 転出
- 伊藤 美穂 英語 転出
- 郷田 昭宏 事務職 第二中へ
- 松重 啓子 支援 転出
- 相川摩木子 介助員 磯島小へ
- 西嶋 正樹 校務員 市職員へ

◎転入など

- 北山 有紀 国語 招提中より
- 小縣 和輝 数学 津田中より
- 大倉 美香 技家 第三中より
- 中村あゆみ 美術 新規採用
- 橋尾 俊佑 理科 貝塚四中より
- 手塚 美里 保健室 育休より復職
- 河野 愛 保健室 蹠中より
- 西岡麻貴子 事務職 第一中より
- 若松 陽一 校務員 新規採用



令和2年度学校教育目標（「学び」のキーワード）
気づく つながる 創り出す
～認め合い、学び合い・高め合う生徒の育成～

創り出す つながる 気づく

今年度も本校の学校教育目標（『学び』のキーワード）を「気づく つながる 創り出す」とし、副題を「認め合い、学び合い・高め合う生徒の育成」としました。この目標を意識して、本校での様々な教育活動を取り組んでいってほしいと思います。

このキーワードの意味について、昨年度の卒業生が「総合的な学習の時間」で取り組んできた「SDGs」で考えてみたいと思います。「SDGs」は、国連が2030年までに解決することを目標とした17の「持続可能な開発目標」のことです。卒業生はこの目標の解決に向けて、それぞれが「今何ができるのか」について考え、様々な「アクションプラン」に取り組みました。こ

～ 各学年の担任・副担任・支援学級担任 ～

学年	担任・副担	1組	2組	3組	支援学級
1年	担任	北山 有紀	小縣 和輝	山川 隆太	古城多佳子 木村 学
	副担	光井 義朗	野口まゆみ	光井 義朗	
2年	担任	河崎 亮介	宮本 大斗	竹内 真美	
	副担	大倉 美香	中村あゆみ	橋尾 俊佑	
3年	担任	平岡 亮祐	白崎 佳輝	金森 絵美	
	副担	小河 伸紀	小河 伸紀	山内 清明	